

◆《介護者編》◆

*～病気で障害を負って12年、在宅生活10年～

62才男性 要介護3 (プラン・スポットで移送)

医療保険と介護保険の制度の狭間、障害者福祉サービスと介護保険サービスの狭間、同じ特性を持った障害者同士の仲間と介護保険施設で出会うリハビリ仲間！どちらも大切な日常なのですが、年齢が進むと介護保険サービスに今以上に比重が傾かざるを得ない状況で、障害特性に適した介護保険制度サービスが増えてくれる事を期待したいです。(S・Y)

*～20年前は協力会員さんでした！～

94才要介護2 (プラン・訪問介護)

母自身は、サロンのボランティアをしていた頃の事の記憶はあるが、詳細は思い出せないようです。

側で見守っている家族の記憶では、“将来、自分がやってもらう時の為の貯金として、今、ボランティアをしている！”と言っていたように思います。毎日、独り暮らしの方の安否確認のための電話をしていました。まだ、介護保険制度も無かった頃、将来を見据えて「ユーアイやちよ」を創った椎名さんをはじめ、スタッフの皆さんのご努力には頭が下がります。

「自分はサービスを受ける立場ではなく、サービスを提供する立場なのだ」という気持ちから、介護者の私にとっては、抵抗が強く、大変な思いをずっと抱えながらやってきましたが、それも、母がやってきたことを考えると領ける部分があります。最近はずすがにおとなしくなっており「ありがとう」という言葉も口にできるようになり嬉しいやら嬉しいやらです。これからも宜しくお願い致します(J・T)

*～認知症のご主人を介護して

4～5年～

80才男性 要介護5 (プラン)

母を介護中に、主人が進行の速いアルツハイマー型認知症に侵されて、介護者として、心身共に苦痛と絶望と、痛ましい夫の姿に涙する毎日でした。介護の時間も長くなり極限状態となり、明日の見えない日々の中、悪い事ばかり考えていました。そんな時、デイサービス⇒ショートステイが始まり、私自身の体調が最悪の時もとても救われている現在です。主人のいない淋しさや、罪悪感を感じつつ、何とかケアマネのOさんと共に、主人を見守ってゆきたいと思っています。身内がないのでOさんに何でも聞いてもらう事で、何とか頑張ってます。(S・D)

*～要支援2の奥様が、要介護3のご主人(75才)を介護中です～

(プラン・訪問介護・移送)

満25年のユーアイやちよ！ご苦労さまです。

私はお隣りからの紹介でユーアイやちよのケアマネを知り、大変助かっています。

今は、主人と二人で生活しておりますが、50年間赤坂で割烹「天悦」を営業しておりましたので、今は夢のような毎日です。日々これ好日！一日でも、明るく楽しくです！(E・S)

(スタートのH.17年から5年間は、奥様は東京でお仕事をされ、週末に八千代に帰られ、ご主人お一人の間は訪問介護、外出介助、通院介助が主でした)

